

親子で来てみる？ジョブカフェいわて

実は親子で、兄弟姉妹で一緒にご利用いただくこともある「ジョブカフェいわて」。今月の「JOBCAFE REPORT」では、保護者のみなさまにも知っておいていただきたい大学生等の就活事情についての話題をご紹介します！




TOPIC 01

「あの頃」と「今どき」の就活事情

～大学生等の保護者として知っておきたい30年の変化

子どもの就職活動を見守る保護者のみなさま、ご自身の就職活動懐かしく思い出される方もいらっしゃるかもしれません。30年の時を経て、就活戦線は大きく変化しており、保護者世代の経験や常識が、必ずしも現在の就活に当てはまるとは限りません。まずは現在の就活事情をご紹介します。

DATA | 就職活動を取り巻く環境の変化

	大学等進学率 ※岩手県	一般求職者の有効求人倍率 ※岩手県	大卒求人倍率 ※全国
1990年代			
	1990(平成2)年度 全体 22.5%	1990(平成2)年度 1.34倍	1990(平成2)年 3月卒 2.77倍
2000年代			
	2000(平成12)年度 全体 32.1%	2000(平成12)年度 0.60倍	2000(平成12)年 3月卒 0.99倍
現在			
	2024(令和6)年度 全体 49.9% 男性 46.6%、女性 53.3%	2024(令和6)年度 1.19倍	2025(令和7)年 3月卒 1.53倍

【出典】大学等進学率：文部科学省「学校基本調査」

一般求職者の有効求人倍率：岩手労働局「一般職業紹介状況 令和7年4月分」

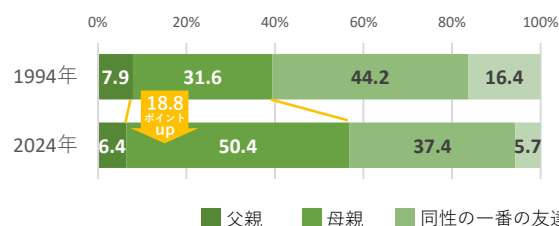
大卒求人倍率：リクルートワークス研究所「第42回 ワークス大卒求人倍率調査（2026年卒）」

他にも対話型生成AIの活用やオンライン就活などの変化も！

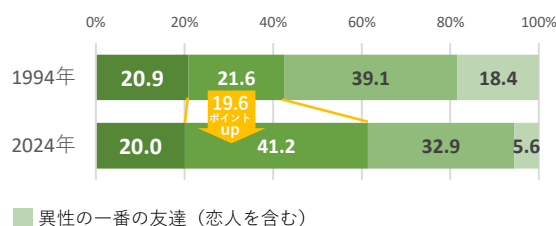
TOPIC 02

30年で「若者」と「親」との関係も変化！？ 今できる就活中の子どもへのサポート

■自分のことを一番理解してくれている相手



■価値観や考えに一番影響を与えている相手



【出典】博報堂生活総合研究所『Z家族 データが示す「若者と親」の近すぎる関係』光文社新書

上のデータは、博報堂生活総合研究所が、19～24歳の未婚男女を対象として実施した「若者調査」のデータです。同調査は、1994年に調査を実施して以降、30年ぶりに2024年に実施されました。30年前と比べると、保護者でも特に母親と子どもの関係が近く、深くなっているようにも見えますね。

インターンシップ等の時期から就職活動までの期間を考えると、学生にとって「自己分析」「企業研究（企業との接点を含む）」の期間は長期にわたります。その間、落ち込んだり、考えすぎたりすることもあるかもしれません。そんな時、**子どもの就職活動を尊重し肯定すること、心の支えになることが保護者にできることではないでしょうか。**

就活中、保護者のかかわりで
よかったこと（学生の声）

いつも通り話を聴いてくれた

企業の情報を教えてくれた

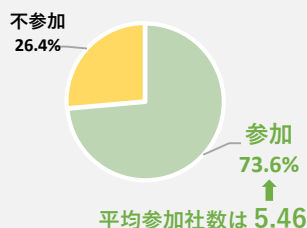
自分の意見を尊重して応援してくれた

DATA | インターンシップ等（キャリア形成支援プログラム）参加状況と実施状況

大学生であれば3年次の夏に多く行われるインターンシップ。部活やアルバイトで忙しい中、インターンシップに参加すべき？うちの子は参加しているの？と心配になることもあるのではないのでしょうか。ここでは近年のインターンシップへの参加状況をご紹介します。

2025.3卒の大学生等 n=1,835

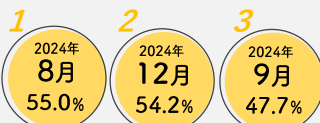
キャリア形成支援プログラムの参加割合



新卒採用をしている企業 n=982

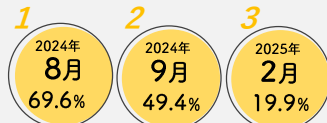
2026.3卒対象のインターンシップ等の実施時期

オープン・カンパニー[タイプ1]の実施で最も多い時期は？



オープン・カンパニーは
8～9月、11～2月の実施が中心

汎用的能力・専門活用型インターンシップ[タイプ3]実施で最も多い時期は？



インターンシップは
長期休み期間の8～9月、2月が中心

【出典】就職みらい研究所「『就職白書2025』データ集」

CLIP | 知っておきたい「インターンシップ」の取り扱い

大学生等のキャリア形成支援に係る4類型の特徴

タイプ3・4が今どきの「インターンシップ」

	タイプ1 オープン・カンパニー	タイプ2 キャリア教育	タイプ3 汎用的能力・専門型 インターンシップ	タイプ4 高度専門型 インターンシップ
概要	業界・企業による説明会・イベント 事業説明(座学)/社員への質問会/職場見学など	大学等の授業(講義)や企業による教育プログラム 事業説明(座学)/フィールドワーク/報告会/職場見学/ガイダンスなど	職場における実務体験 事業説明(座学)/グループワーク/実務体験(必須)/発表会・報告会など	特に高度な専門性を要求される実務を職場で体験 研究所・工場等での実務体験(必須)/発表会・報告会など
対象	学年不問	学年不問	学部3・4年生 修士1・2年生、博士課程	修士課程、博士課程学生
期間	超短期(半日など)	授業、プログラムにより異なる	汎用的能力型は5日間以上 専門活用型は2週間以上	ジョブ型研究インターンシップは2カ月以上 ※試行中 ※博士課程向けは検討中
タイプ1・2は短期間での実施も多いから、さまざまな業界や企業のプログラムに参加することで、自身の今後のキャリアをイメージする機会にも！				
採用活動開始以降に限り、企業はインターンシップの際に取得した学生の情報を採用活動に活用できる				

【参考】採用と大学教育の未来に関する産学協議会 2021 年度報告書「産学協働による自律的なキャリア形成の推進」より作成



ジョブカフェいわてでは毎月1回
『子どもの就職』保護者相談会を開催！

「若者の就職事情は今どうなってるの？」「子どもと関わる際に心がけることは？」など、子どもの就職について、キャリアカウンセラーが個別の相談に応じます。

2026年1月の開催

1月31日(土) 14:00～16:00

※予約制です。お電話でお申込みください。



詳細はジョブカフェいわてHPでご確認ください



大学生等の保護者のための就活サポート
セミナー アーカイブ配信中！

2025年6月に開催した2つのセミナーをアーカイブでご覧いただけます。

子どもの就活環境—2025年はどう変わる？どう支える？

ゲスト：株式会社インディードリクルートパートナーズリサーチセンター
上席主任研究員 栗田 貴祥氏

実際どうだった？インターンと就活の実状
内容：県内企業3社の若手社員による就活等体験談

配信は2月〇日(〇)まで